

「学びの変革」通信

学力向上推進研究協議会

5月27日（水）に市内小中学校の学力向上推進を担う教職員が集まり、学力向上推進研究協議会を開催しました。

講義1では、『学びの変革』授業デザイン」等を活用した学力向上への取組」と題して、福島県教育庁義務教育課指導主事より「学びの変革」授業デザインの特徴や「学びの変革」授業デザインに基づく授業づくり、教師が「話す」授業から、教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業への転換について説明しました。また、学力の伸びを引き出した学校の取組事例集についても触れ、取組が掲載されている湯本第一小学校及び植田中学校に各校の取組について発表をしていただきました。

講義2では、「いわき市の学力向上の取組について」と題して、いわき市教育委員会主任指導主事より「いわき市の学力の現状や学力向上に対する取組」について説明をしました。

最後の協議では、「学力向上の推進について」と題して、中学校区で集まり、「自分たちができる取組、できそうな取組」について話し合いました。

教師からの一方的な説明ではなく、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、多様な子どもを誰一人取り残さないための授業改善を心がけていきましょう。



教育相談リーダーシップ研修会

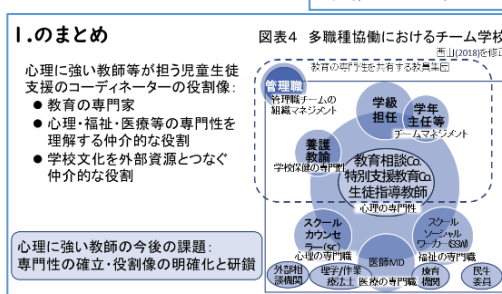
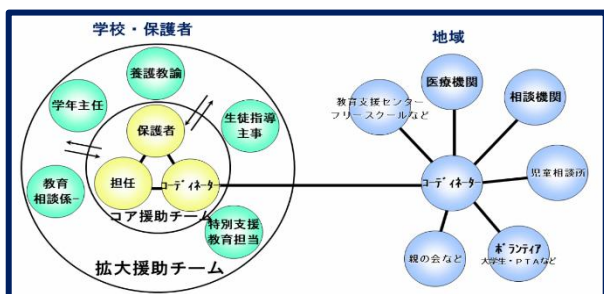
5月29日（金）に教育相談リーダーシップ研修会が開催されました。（5か年計画の1年目）講師の田村節子氏（スクールセーフティネット・リサーチセンター代表理事）より、改訂生徒指導提要に基づく「チーム学校」での不登校対応や、事例に応じた組織的支援の大切さを学びました。

担任、養護教諭、保護者、医療機関などがそれぞれの立場で動くこと、そして何より、日頃の教育相談において次の4つを心に留めておくことが示されました。

- ◆ 相手は「自分のことをわかってほしい」と思っている。
- ◆ 相手の主張は、とにかく「聴いて、聴いて、聴きまくる。」
- ◆ すべて吐き出せて初めて、相手は受け入れることができる。
- ◆ 「怒っているとき」は「困っているとき」

子どもや保護者の言葉・態度の背景にあるSOSを見逃さず、まずはじっくり「聴く」ことから丁寧な支援につなげていきましょう。

出典：石隈・田村(2003)



第13号でお伝えした研究会の曜日に間違いがありましたので、訂正いたします。

算数・数学授業研究会〈中学校：数学〉 第1回 令和8年 9月 4日（金）